

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。				
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方	
○目標値と進捗状況			2019年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196町内会中121の町内会の防災マップを作成する予定としている。 今後は、未作成である75町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18町内会については2020年度末までの作成を目標とし、それ以外の57町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2021～2023年度で実施予定）に併せた作成を目標とする。	
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	121 町内会 /196 町内会	139 町内会 /196 町内会	135 町内会 /196 町内会	78%
新規目標数：18 町内会、年度末実績：14 町内会				
○2020年度の取組内容等 作成を目指した18町内会と協議を行い、14町内会は作成・配布した。残りの4町内会については、既に作成済みの学区全体の防災マップで災害時に的確な避難行動が行えるということから作成まで至らなかったが、2022年度の土砂災害警戒区域等の更新時期に併せて町内会の防災マップを作成する予定である。 (参考)				
区 分	目 標 (a)	作成・配布済 (b)	2022年度作成予定 (a-b)	
戸坂城山地区	7 町内会	5 町内会	2 町内会	
尾長地区	3 町内会	2 町内会	1 町内会	
矢賀地区	8 町内会	7 町内会	1 町内会	
計	18 町内会	14 町内会	4 町内会	
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
155 町内会 /196 町内会	東浄地区16町内会の防災マップの作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）を行う。			
○取組上の課題等 町内会の防災マップ作成に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った上で、防災士又は区役所職員が、街歩きや会議など防災マップ作成のための支援を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課																				
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え																								
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。																								
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。																								
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアのうち、1地区で訓練を実施している。今後も、同様な形で訓練を継続する。																					
○目標値と進捗状況																								
年度	2019 実績	2020																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の目標値	4地区/年	4地区/年	1地区/年	25%																				
○2020年度の実施内容等 4つのエリアの学区自主防災会連合会と実施に向けた協議を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3つのエリアは防災訓練を中止とした。 そうした中で、「福木・温品」エリアは、風水害から地震へ想定内容を見直し、訓練会場の規模を縮小するとともに、参加者のマスク着用、検温及び会場の換気などの新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、防災訓練を実施した。 (参考)																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">実施日</th> <th style="width: 25%;">会 場</th> <th style="width: 25%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二葉エリア</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福木・温品エリア</td> <td style="text-align: center;">9月13日(日)</td> <td style="text-align: center;">温品小学校</td> <td style="text-align: center;">温品・上温品地区合同実施</td> </tr> <tr> <td>戸坂エリア</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>牛田・早稲田エリア</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区 分	実施日	会 場	備 考	二葉エリア	中止	—		福木・温品エリア	9月13日(日)	温品小学校	温品・上温品地区合同実施	戸坂エリア	中止	—		牛田・早稲田エリア	中止	—	
区 分	実施日	会 場	備 考																					
二葉エリア	中止	—																						
福木・温品エリア	9月13日(日)	温品小学校	温品・上温品地区合同実施																					
戸坂エリア	中止	—																						
牛田・早稲田エリア	中止	—																						
○2021年度の目標値と取組方針等																								
目標値	取組方針等																							
4地区/年	二葉エリア・・・開催に向けて協議する。 福木・温品エリア・・・温品小学校で9月上旬に開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・開催に向けて協議する。																							
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでの防災訓練のように1か所に大人数を集めて、長時間の訓練を行うのではなく、参加人数を制限するとともに、担架搬送訓練や炊き出しなど、感染リスクが高い訓練は中止し、できるだけ時間短縮して実施する方向で学区自主防災会連合会と協議する。																								
○備考																								

## アクションプラン 検証シート (2020 年度実績)

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的 な取組	要支援者を地域で支えよう!	担当課	地域起こし推進課 地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (2) 避難行動要支援者への支援							
事業目的・内容 災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的事項を整理した計画（個別計画）を作成できるよう支援を行っている。							
○課題と対応 要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。							
○指標 対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数			○目標値の考え方 2019 年度までに4地区（東浄・上温品・温品・福田）で作成している。2020 年度の名簿提供時から、作成した個別計画数を報告していただくこととし、1 年度あたり2 地区（2024 年度は1 地区）での作成を目標とする。				
○目標値と進捗状況							
年度	2019 実績	2020					
		目標値	実績	進捗率			
年度毎の 目標値	4 /13 地区	6 /13 地区	6 /13 地区	100%			
○2020 年度の実績 避難時に支援の必要があるかの把握ができていない417 人について、学区自主防災会連合会の協力を得て実態調査を行った。（戸坂・戸坂城山・東浄地区については、民生委員・児童委員の協力を得て調査を実施） 【実態調査結果】							
地区名	調査対象	居住していない	4 階以上に居住	避難支援者がいる	実態不明	避難支援者がいない	個別計画作成済
福 田	25	4	0	20	0	1	1
馬 木	51	2	0	41	6	2	1
上 温 品	16	2	0	13	0	1	0
温 品	10	0	0	7	3	0	0
東 浄	26	1	4	19	1	1	0
戸坂城山	37	3	2	30	0	2	0
戸 坂	83	16	3	42	12	10	0
牛田新町	15	3	4	7	0	1	0
牛 田	46	7	0	28	2	9	0
早 稲 田	16	2	0	5	9	0	0
中 山	15	1	0	10	1	3	0
尾 長	61	16	3	33	0	9	0
矢 賀	16	2	0	10	3	1	1
計	417	59	16	265	37	40	3
実態調査で、避難支援者がいないと判明した人に対して、個別計画の作成支援を行い、福田地区で1人、馬木地区で1人、矢賀地区で1人の個別計画を作成した。							
○2021 年度の目標値と取組方針等							
目標値	取組方針等						
8 /13 地区	実態調査の結果、「避難支援者がいない」「実態不明」と判明した人へ電話等により実態把握を進め、地域と連携して個別計画の作成を支援する。						
○取組上の課題等 避難行動要支援者のうち、「避難支援者がいない」「実態不明」と判明した人の実態調査や個別計画の作成支援のため、地域包括支援センターや障害者基幹相談センター等と連携する。（2021 年 6 月 2 日関係者会議開催）							
○備考							

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>—</td> <td>500人</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	—	500人	0人	0%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	—	500人	0人	0%													
○2020年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、講演の場として予定していた12月の「東区コミュニティ交流協議会東区民大会」及び2月の「町内会・自治会長等研修会」は中止したことから、3月27日（土）に広島市がオンラインで開催した、『「地域コミュニティ」を考えるシンポジウム』（※1）の視聴を地域団体（※2）へ呼び掛けた。  （※1）開催内容 ・基調講演「地域コミュニティと広島の将来像」（松井広島市長） ・町内会・自治会等実態調査結果報告（中谷コミュニティ再生課長） ・パネルディスカッション （早稲田学区社会福祉協議会 西田会長 ほか5名） （※2）東区コミュニティ交流協議会構成団体（36団体）、町内会・自治会（196団体）、区内小中学校のPTA																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">500人</td> <td>東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。</td> </tr> </tbody> </table>			目標値	取組方針等	500人	東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。									
目標値	取組方針等																
500人	東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。																
○取組上の課題等 感染防止対策のため、参加人数を制限する必要があることから、より多くの方に視聴してもらえるようWebによるライブ配信を検討する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2020 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が 2 件であるため、毎年度 2 件以上を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2 件 /年	2 件以上 /年	3 件 /年	150%
○2020 年度の取組内容等 1 次募集での新規申請が 0 件であったため、「市民と市政」での広報、公民館長会議や町内会長来課の機会をとらえて制度を周知した結果、2 次募集で 1 件【片河町内会】、3 次募集で 2 件【温品連合町内会、中山台町内会】の申請があり、新規申請は 3 件となった。				
団体名（補助額）	事業内容			
片河町内会（尾長学区） （10 万円）	坂の多い地形をいかしたウォーキングサロンを実施し、屋外での交流機会を設けることで、地域コミュニティの活性化を図る。			
温品学区連合町内会 （10 万円）	①防災カードの普及、②「まんがポスター」の作成、③道路冠水レベルを示す案内板の設置を実施することで、地域住民の防災意識を高め、災害に強いまちを目指す。			
中山台町内会（東浄学区） （10 万円）※	世代を問わずに楽しめる神楽大会を継続的に開催し、子どもたちが企画・運営に参加することで地域とのつながりを深め、地域コミュニティの活性化を図る。			
※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したため、2021 年度に再度申請予定				
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 件以上 /年	新年度募集開始時に地区社会福祉協議会等に手引き等の案内を送付する。また、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなど、より広く制度の周知を図っていく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の地域活動自体が自粛・縮小される中であって、新たな活動を開始しづらい情勢にはあるが、引き続き「市民と市政」などにより、既存の活動団体の事例を紹介するなど周知を図っていく。 また、地区社会福祉協議会等の団体に手引き等の案内を送付するなどして、今後の補助申請につながる取組・団体の掘り起こしを行う。				
○備考				



## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組 地域の安全は地域で守ろう！		担当課 地域起こし推進課	
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラを設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	5 台 /6年平均	5台以上 /年	3台 /年	60%
○2020 年度の取組内容等 3 団体より申請があり、計 3 台の設置を支援した。 また、2 月に東区コミュニティ交流協議会「減らそう犯罪」推進部会委員に対して、各地区の設置状況を周知するとともに、当該補助制度を積極的に活用するよう呼び掛けた。 (参考) 広島市地域防犯カメラ設置補助制度による防犯カメラ設置状況				
地 区	～2019 年度	2020 年度	計	
福 田	2 台	1 台	3 台	
馬 木	8 台	1 台	9 台	
上 温 品	1 台	—	1 台	
温 品	1 台	—	1 台	
東 浄	—	—	—	
戸坂城山	—	—	—	
戸 坂	1 台	—	1 台	
牛田新町	—	—	—	
牛 田	8 台	1 台	9 台	
早 稲 田	—	—	—	
中 山	2 台	—	2 台	
尾 長	9 台	—	9 台	
矢 賀	—	—	—	
計	32 台	3 台	35 台	
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 当該補助金により設置されている防犯カメラは、地区により危険箇所等を確認した上での申請になるとはいえ、地区によって設置台数に偏りがある。犯罪の起こりにくい安全なまちづくりのためには、その偏りを地域団体に周知するとともに、設置が必要な箇所には当該補助金を積極的に活用するよう呼び掛けていく。				
○備考 「新型コロナウイルス感染症の影響に対する地域福祉活動緊急支援事業」（健康福祉局地域共生社会推進室）を活用した防犯カメラの設置を検討するよう各地区社会福祉協議会に周知したところ、3 件 6 台（牛田 2 台、温品 2 台、上温品 2 台）の申請があり、交付決定されている。（申請受付期間は 2020 年 12 月 28 日で終了）				

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり																	
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和37年度から補助金を交付している。																	
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。																	
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が15か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度20か所の新規設置を目標に取り組む。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>20か所 /年</td> <td>20か所 /年</td> <td>18か所 /年</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	20か所 /年	20か所 /年	18か所 /年	90%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	20か所 /年	20か所 /年	18か所 /年	90%													
○2020年度の実績等 新設要望のあった18か所について設置工事を完了しており、目標値に対する達成率は90%であった。 なお、市からの補助を受けて町内会が新規設置する防犯灯については、来年度以降の設置等について問合せが数件あったものの、今年度設置可能なものについての具体的な相談はなかった。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">20か所 /年</td> <td>町内会からの個別要望や街路灯維持補修費補助金申請の受付時など、街路灯の市による新設又は町内会による新規設置補助等の要望・相談を受ける機会があれば、対応の是非を判断の上、対応可能であれば積極的に対応していく。 馬木地区社会福祉協議会から設置要望が出されている広島中島線の3か所の防犯灯を設置予定である。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	20か所 /年	町内会からの個別要望や街路灯維持補修費補助金申請の受付時など、街路灯の市による新設又は町内会による新規設置補助等の要望・相談を受ける機会があれば、対応の是非を判断の上、対応可能であれば積極的に対応していく。 馬木地区社会福祉協議会から設置要望が出されている広島中島線の3か所の防犯灯を設置予定である。									
目標値	取組方針等																
20か所 /年	町内会からの個別要望や街路灯維持補修費補助金申請の受付時など、街路灯の市による新設又は町内会による新規設置補助等の要望・相談を受ける機会があれば、対応の是非を判断の上、対応可能であれば積極的に対応していく。 馬木地区社会福祉協議会から設置要望が出されている広島中島線の3か所の防犯灯を設置予定である。																
○取組上の課題等 防犯灯の新設については、東区役所（維持管理課）で工事施工することができないため、要望を受けてから設置するまでにかなりの時間を要している。 また、本庁（都市整備局設備課）も複数区を取りまとめた上で工事発注するため、事務処理等に時間を要している。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6回 /年	6回以上 /年	0回 /年	0%
○2020年度の実績等 交通安全街頭キャンペーン及び自転車交通マナー教室については、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年どおりの実施内容では密集・密接を避けられず、安全にイベントを実施できないため、中止とした。なお、これらの運動期間中は、庁内放送及びのぼり旗の掲示、Facebookにより啓発活動を行った。 (参考)				
区 分	計 画	実 績		
① 交通安全街頭キャンペーン(春)	4月	中止		
② 交通安全街頭キャンペーン(夏)	7月	中止		
③ 交通安全街頭キャンペーン(秋)	9月	中止		
④ 交通安全街頭キャンペーン(年末)	12月	中止		
⑤ 自転車交通マナー教室	6月	中止		
⑥ 自転車交通マナー教室	2月	中止		
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催する。(ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施が困難な場合は、のぼり旗の掲示等による啓発活動を行う。)			
○取組上の課題等 不特定多数の人に対して啓発物品を配る交通安全街頭キャンペーンについては、今後も例年どおりの実施が困難なことが想定されることから、その場合は、のぼり旗の掲示やFacebook等による啓発活動を行う。 また、高校生を対象とした自転車交通マナー教室については、自転車交通ルールやマナーを守らない人が依然として見られることから、密接・密集を避けて行う方法を広島東警察署や学校等と協議する。				
○備考				